

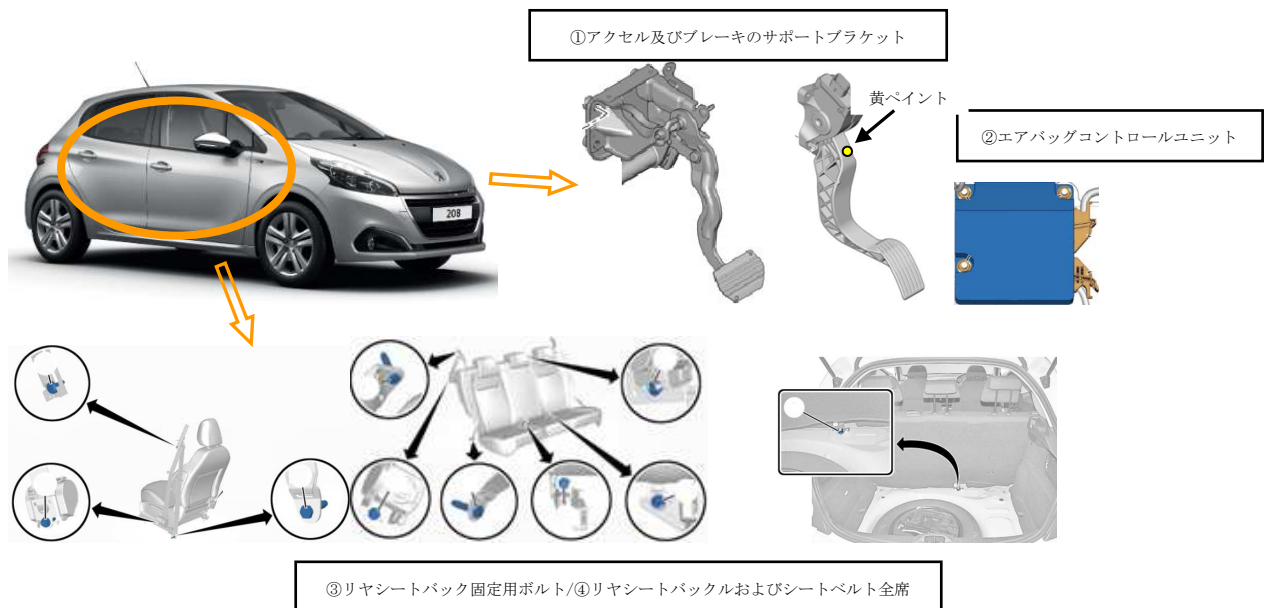
## リコール届出一覧表

リコール届出日：令和 元年 7月 5日

リコール届出番号	外 - 2887	リコール開始日：令和 元年 7月 5日
届出者の氏名又は名称	プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社 代表取締役 クリストフ プレヴォ (製作者名： オートモビル・プジョー) (問い合わせ先：0120-840-240 プジョーコール)	
不具合部位 (部品名)	加速および制動装置 (アクセル/ブレーキペダルブラケット)・エアバッグ装置 (エアバッグコントロールユニット)・乗車装置 (リヤシート)・乗員拘束装置 (シートベルト)	
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①アクセル及びブレーキのサポートブラケットにおいて、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足している可能性がある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットが外れてアクセルおよびブレーキ操作ができなくなるおそれがある。 ②エアバッグコントロールユニットの取付けナットにおいて、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足している可能性がある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットが外れてエアバッグコントロールユニットが脱落し、エアバッグの作動ができなくなるおそれがある。 ③リヤシートバック固定用ボルトにおいて、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足している可能性がある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットが外れて乗員の拘束ができなくなるおそれがある。 ④リヤシートバックおよびシートベルト全席において、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足している可能性がある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットもしくはボルトが外れて乗員の拘束ができなくなるおそれがある。	
改善措置の内容	①～④全車両、当該ナットおよびボルトの締め付け状態を確認し、トルクが不足している場合は、規定のトルクで締め付ける。	
不具合件数	0 件	事故の有無 0 件
発見の動機	本国からの情報による。	
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用者 : 電話・ダイレクトメールにて通知する。</li> <li>● 自動車分解整備事業者: 対象台数が極めて少数であり、全ての使用者を把握しているため、機関誌等への掲載は行わない。</li> <li>● 対策実施済車両 : 対策済車両には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-2887のステッカーを貼付する。</li> </ul>	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
プジョー	ABA-A9HN01	208	VF3CCHNZTJW155186 平成31年2月2日	1台	①～④
合計	計 1 型式	計 1 車種	輸入期間の全体の範囲 平成31年2月2日	1台	

## 改善箇所説明図



注：  は規定トルクでの締め箇所を示す

### 不具合の内容

- ①アクセル及びブレーキのサポートブラケットにおいて、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足している疑いがある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットが外れてアクセルおよびブレーキ操作ができなくなるおそれがある。
- ②エアバッグコントロールユニットの取付けナットにおいて、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足している疑いがある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットが外れてエアバッグコントロールユニットが脱落し、エアバッグの作動ができなくなるおそれがある。
- ③リヤシートバック固定用ボルトにおいて、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足している疑いがある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットが外れて乗員の拘束ができなくなるおそれがある。
- ④リヤシートバックルおよびシートベルト全席において、締め付け作業が不適切なため、締め付けトルクが不足している疑いがある。そのため、走行振動等により当該ナットが緩み、最悪の場合、ナットもしくはボルトが外れて乗員の拘束ができなくなるおそれがある。

### 改善措置の内容

- ①～④全車両、当該ナットおよびボルトの締め状態を確認し、トルクが不足している場合は、規定のトルクで締め付ける。

### 識別

アクセルペダルのレバー上部に黄ペイントを塗る。